

第48号 2007.8.31

高知県立幡多けんみん病院発行

〒788-0785

宿毛市山奈町芳奈3番地1

TEL (0880)66-2222(代)

<http://www.pref.kochi.jp/~hata>

病院ニュース

# News Letter

## 整形外科

### 外来診療について

院長 山下邦康

近年の幡多地域（四万十市、土佐清水市、宿毛市など）における整形外科医師数の減少により、手術加療を要するような整形外科疾患に対応できる病院に限られ、患者さんの一局集中が進んでいます。

幡多地域で唯一の急性期病院である当院としては、救急医療体制は今後も確保し、急性期の機能を何としてでも維持しなければならぬと考えています。日々の入院・外来診療、手術に加え、救急患者数も増加しており、現在の限られた医師数では、手術を必要とするような救急患者さんへの緊急対応がなかなか迅速に行えない状況になっています。

このたび、急性期病院としての診療を全うすることが最優先と考え、外来診療を縮小せざるを得ない状況であると判断いたしました。

つきましては、平成19年9月10日（月）より、外来診療について次のとおり一部運用を変更する予定です。

皆様におかれましては、幡多地域の救急医療を維持するためにも何卒ご協力くださいますようお願いいたします。

①水曜日の外来診療は、終日休診とさせていただきます。

水曜日は朝から手術を行う予定です。

②外来診療受付時間を11時までとさせていただきます。

外来診療が延伸すること、手術の開始時間が遅れ、手術予定の救急患者さんを長時間待機させていただきます。

③投薬、注射で治療可能である、症状の安定している患者さんにおかれましては、近隣の整形外科医療機関への紹介をお勧めさせていただきます。



## 病院の理念

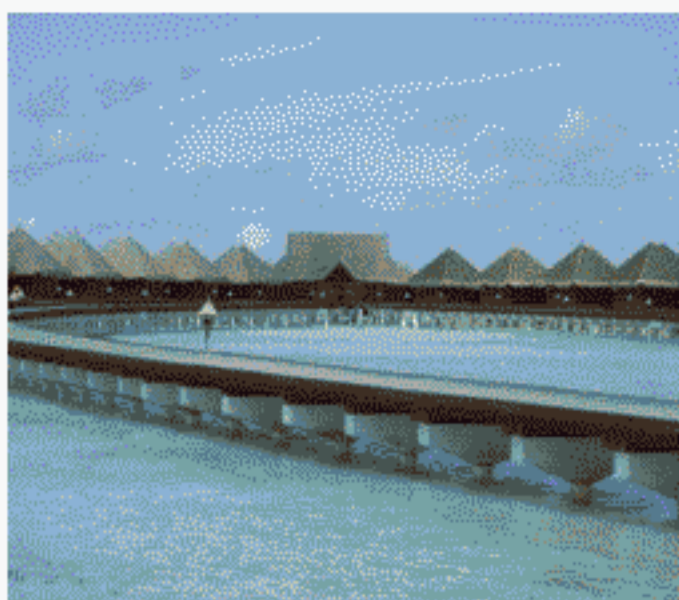
1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

## 私たちの目指す医療（基本方針）

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療

## 南の島へ 行ってきました

編集スタッフ体験記

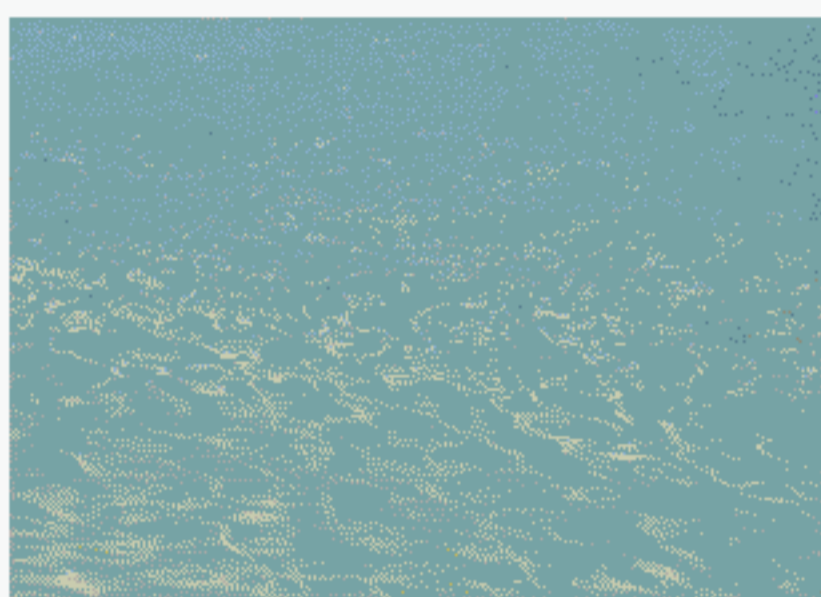


「インド洋の真珠」と呼ばれる島、モルディブ共和国に行ってきました。約1200の小さな島からなるこの国は、海拔1〜2メートル程度のところがほとんどで、地球温暖化の影響を受け、50年後には海に沈んでしまふとも言われています。

赤道に近い国なので、かなりの暑さを想像して出発しました。シンガポール経由でモルディブ

の首都マレに到着したのは、現地時間の夜十一時（日本時間夜中三時）。真っ暗な海をスピードボートでホテルのある島まで十五分。真っ暗な海にほんのりと明かりが照らし、空には満天の星。流れ星も流れて、とても幻想的な雰囲気でした。

翌朝、目の前にはすごい景色が広がっていました。真っ青な空に真っ白な雲。今までに見たことのないほどきれいな水色（水色かつ透明というのでしょるか）。日中でも木陰に入ると涼しくてびっくりするほど。



食べ物もおいしく、朝から色々なものがメニューに並んで、中でもお気に入りは、焼きたてのクロワッサンと絞ったてのオレンジジュース。この二つは、毎日食べてもあきることないほどの絶品でした。



最終日の夜には、水上レストランで海風に吹かれながら食事をしました。モルディブでも「まぐろ」や「かつお」を食べるらしく、前菜には「かつお」もでてきました。ちょっとびっくり。

イルカやエイに遭遇したり、見たことのない鳥や魚もたくさんいました。



短い時間でしたが、楽しいことがいっぱいありました。ゆったりとした時間の流れと自然にいっぱい囲まれるなかで感じていたのは、きれいな景色をみたり、美味しいものを食べたりした時、いつも、大切な誰かに見せてあげたいなあとか食べさせてあげたいなあとか。今頃何をしているのだろうかとか。自分にとって気になる誰かや大切に思える誰かがいるということは、自分が実際に見たもの、食べた者に対する感動と、もうひとつその誰かを思うあたたかい気持ちになれるというんだか「一

粒で二度おいしい」そんな気がしました。

そして、ホテルで出会ったスタッフの自然に溢れ出るようなホスピタリティーには感動しました。ホスピタリティー（親切なおもてなし、おもてなしのこころ）はホスピタル（病院）の語源だともいわれています。いつも笑顔で、ここから相手を受入れる気持ちはどんなところでもとても大切なことのような気がします。

晴れたり、曇ったり、いろんな日があるけれど、いつも誰かを温かくさせるような笑顔で過ごせるように……。



### からだにやさしい食生活

栄養科



今月はかんたん朝ごはんメニューに挑戦します。朝食の欠食は男女共に20歳代で最も多く、男性で約3割、女性で約2割。成長期の幼児や小中学生も朝ごはんを食べないことがあるというのが驚きです。

また、毎日食べているひとも食パンとコーヒーのみ。菓子パンで済みます。……などとても寂しい朝ごはんです。こんな内容では肥満や高脂血症、糖尿病などの生活習慣病が喜んで近づいてきてしまいます。



時間が無い、もう少し寝たい、食欲がない、としっかり朝ごはんを食べていないあなた！一念発起して健康への第一歩を踏み出しましょう。

#### ★メニュー★

- ・野菜の具沢山みそ汁
- ・おかかごまおにぎり
- ・ネギいり卵焼き



#### ★作り方★

①まずはみそ汁からです。冷蔵庫や野菜保管庫にある野菜でしたらなんでもかまいません。小さく切ってだし汁と一緒に小鍋に入れて軟らかくなるまで煮ます。

②その間におにぎりをつくりましょう。かつお節とごまは電子レンジで10秒加熱して香ばしさを出します。そこへしょう油を数滴加えてごはんでやさしく包み込みように丸めません。形は不恰好でもかまいません。

③次に卵焼きです。溶いた卵に刻んだネギをたっぷり入れます。薄く油を引いたフライパンを中火にかけて卵を焼きます。焦げないように箸でかき混ぜるだけで十分です。半熟程度で火を止めれば後は余熱で十分火が通ります。卵焼きとおにぎりは同じお皿に盛りましょう。

④あとは①にみそを溶いてお椀に盛り付ければ出来上がり。果物や乳製品を添えるときさらにバランスがよいですね。

細かい作業は手抜きをしてもかまいません。余分な味付けも入りません。素材の味を楽しんで、朝ごはんを食べる喜びを是非味わってください。



今月は、当院事務職員のお弁当を紹介します。

一人暮らしにも関わらず自炊派ということで、お昼も毎日お弁当を持参しています。本人に聞いたところ、特に、お弁当のおかずとなる食材を買い物するときは、楽しくてウキウキするらしいです。お料理がほんとに好きなんだらうなあ。

彩りに気を使ったという写真のお弁当ですが、そのとおり様々な色彩が散りばめられていて、とてもおいしそうな仕上がりになっています。周りの職員も注目して、『自分にも作ってほしい』とお願いをされることもあるそうです。

あ、最後にお弁当作者の紹介を。彼は、30代働き盛りの、ちょっと大柄なナイス・ガイです☆



CC委員会から  
皆様へのお知らせ

CC委員会

庭園の維持・管理については日頃から当院でも気にかけているところですが、敷地内の樹木・草花の手入れが不充分で、雑草が生い茂っていました。

7月下旬から8月上旬にかけて、敷地内（駐車場・東西玄関・リハビリ庭園・3階庭園等）の草刈を行いました。

現在のところ、樹木や草花の手入れをするには至っておりませんが、今後、庭園の整備に向けて、庭園設計の方のご協力を仰いだり、情報収集をしていきます。いろいろな段階を踏んでの作業となるため時間はかかると思いますが、今年度は、また機会を見て草刈を行うことを予定しております。



7月の統計

外来患者数	15,426人
新外来患者数	2,569人
紹介患者数	402人
新入院患者数	525人
退院患者数	507人
平均在院日数	14日
救急車・時間外患者数	1,330人
手術件数	219件

椿多けんみん病院における患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を平等に受ける権利をもっている。
2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
5. 患者さんは、人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。